

「経営者という貴重な人材資源」

私は27歳から経営者の道を歩んで来ました。経営者とは、どういうものかは、やってみなければわかっていただけな
いと思います。私は是非多く
の人達に挑戦して貰いたいと
思います。様々なリスクも
あるため、誰にもお薦め出来
る訳ではありません。

私がここで言う経営者とは
トップのことです。トップと
は代表取締役や社長・会長な
ど、実質的な最高権力者、最高
責任者であり、一つの会社で
たった一人の人のことを指し
ています。ですから小規模事
業であろうが大企業であるう
がトップは一人です。

経営者は誰からも守られな
い人です。自由な世界で何を
してもいいかわりに、何をし
ていいのかわからない、何が
正しいかを誰からも示して貰
えない人です。自由の荒野を
自分独りで生き残る為の道を
嗅ぎ分け、切り開いて生きて
行かねばならない人です。協
力者が裏切者か見分けがつか
ない中で、信じることも疑う
ことも、自分の決断の結果を
独りで全て背負って、傷だら
けになりながら生きて行く人
です。経営者は野犬のよう
でもあります。飼犬ならば多
少不自由で不満があっても飢

えることは無いかも知れな
い。野犬は常に飢えの恐怖に
さらされながら餌を求めて世
を彷徨います。

経営者は国がどんな状態に
あるうが、どんな国であるう
が、人間が居るところならど
こでもその環境に変幻自在に
適応し、環境を生かした生き
延び方を見出します。国が乱
れる時、誰しもが経営者のよ
うな野犬のような生き方を強
いられることがあります。私
の父もそうであったように戦
後の混乱と貧困の世界を多く
の方々がたくましく生き抜い
て来ました。厳しい環境の中
で否が応にも培われる生き抜
く力こそが日本を世界に冠た
る国となった活力だったと思
います。

安定した時代が続く事に
よって、企業は大規模化が進
んできました。小規模事業や
中小企業の経営は大企業との
競争によって以前にも増して
厳しい環境となつています。
また時代も進歩してしまし
た。商品やサービスが世の中
に溢れ、陳腐化するスピード
も早く、私達は常に新しいも
のを求めています。求められ
るものが変われば売れるもの
も変わります。経営は時代の
変化に機敏に対応して行か

ばなりません。かつて儲かっ
たビジネスもどんどん廃れて
いきます。廃れるものにしが
みついても浮かび上がる
望みはほとんどありません。
大企業ですら時代に乗り遅れ
れば倒産する時代になりました。
た。

これからの時代は、これま
で上手くいって来たものを捨
てて、新しい成長の流れに乗
り換えて行かねばならない時
代です。経営者はどんな環境
でも生き延びる力を培ってい
かなければなりません。国際
競争にさらされ、変化の激し
いこの時代こそ強(したた)か
な経営者が必要です。しかし、
過去のしがらみに縛り付けら
れて新しい事に取り組むこと
が難しい経営者が沢山いらっ
しゃいます。古いものを大切
に守ることだけが良いことで
はありません。ビジネスに
よっては早く事業譲渡した
り、債務整理をスピードアッ
プすることで貴重な経営力を
より成長が期待出来る分野に
向かわせることが必要です。
それと同時に経営技術をより
高めることも必要です。

経営は成功すれば大きな見
返りがありますが、失敗すれ
ば人生を破滅させてしまうも
のです。創業会社が10年後に

存続する確率は10%です。経
営の成功はとても狭き門で
す。受験であれば競争率10倍
です。私は勝手に、一人前の経
営者の条件は、10年間倒産さ
せなかった実績と50歳を超え
ていることと思っています。
私も経営者になって今年で
20年ですが、まだ46歳です。か
らまだまだ半人前です。しか
し世の中には、この一人前の
経営者が大勢、しがらみから
脱出出来ず、くすぶってい
らっしゃいます。とてももっ
たいなく思っています。日本
の活力を取り戻す為に経営者
という貴重な人材をいかに社
会に生かすかが問われている
と思います。

Facebook でも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

